

# 障害をもつ人の苦みの解明と それを和らげるケアに関する研究

研究分野:慢性期看護・がん看護・終末期看護・障害者福祉・高齢者福祉

キーワード:吃音、障害を持ちながら暮らす人、がん化学療法による味覚障害、終末期、ACP、終の棲家、原爆被爆者  
貢献できるSDGsの区分:



看護栄養学部 看護学科 准教授 吉田恵理子

教員情報URL <https://sun.ac.jp/researchinfo/eriko/>

## 研究概要

私たちは、病い・障害・老い・死といった人生の中でさまざまな苦みに直面した際、身体的・精神・社会的な苦しみと共に、時には、自分に価値がないように感じたり、生きることが無意味に思えたり、孤独や疎外感を感じる場合があります。このような苦しみをスピリチュアルペインと言います。人間の苦しみは、その人が置かれている客観的状況と、その人の主観的な想い・願い・価値観とのズレが苦しみを構成し、このズレが大きいほど苦しみが大きくなると言われています。

現在、様々な障害、慢性の病い、がんなどを持ちながら生活する方やご家族のもつ苦みの解明とそれを和らげるケアについて研究をしています。「難発性吃音者における吃音発生のメカニズムの研究」は、現象学という手法を使い、吃音を持つ方自身の意識の向け方と身体への反応の現われに着目した研究を行っています。また、がんの治療(化学療法)の副作用で、味覚障害を体験したかたの苦しみについても、体験者にインタビューを行い、解明を進めています。

## 産学連携の可能性(アピールポイント)

- \*障害、慢性の病い、がんなどを持ちながら生活する人・家族への教育支援、地域での研修
- \*障害、慢性の病い、がんなどを持ちながら生活する人・家族を支援する医療職・福祉職への援助的コミュニケーションに関する教育支援、研修
- \*吃音をもつ人・家族への教育支援

## 外部との連携実績等

- ・吃音に関する講演会・学習会開催、吃音セルフヘルプグループでの活動
- ・長崎県看護キャリア支援センター実習指導者講習会講師
- ・日本赤十字社長崎原爆病院・日本赤十字社長崎原爆諫早病院キャリアラダーⅢ(学生指導)講師
- ・長崎県離島航路対策委員(継続)
- ・認定NPO法人 DEPEX-Japan運営委員(継続)
- ・NPO法人 ピンクリボンながさき理事(継続)
- ・長崎県糖尿病看護師育成事業委員会 委員(実績)